

式 辞

8月26日にスタートし最も長かった83日間の2学期も本日終了し、明日から冬休みが始まります。みなさんにとって今年の2学期はどうでしたか。

先日の学年集会で、自分なりに成長したと思う人に挙手してもらいましたが、多くの人が「自分は成長した」と感じたことを嬉しく思います。また「変わってない」「成長していない」に挙手した生徒も若干いましたが、そのことを自覚して反省することが大切なことです。そのことを踏まえた上で、成長した生徒も成長を感じられなかった生徒も、冬休みや3学期をどう改善していくかを考え行動することが、皆さん一人ひとりがより成長していく上での鍵になります。

校長先生から見て植田東中の皆さんの2学期を評価してみたいと思います。まずは3年生。お年寄りや幼児のために献身的に取り組んだ9月の福祉体験活動は大変立派でした。また2学期最大の学校行事の秋風祭や合唱ではさすが最上級生と思うほどの活躍をしてくれました。そして一番評価する点はやはり学力が向上したことです。一人ひとりが自分の進路を見つめて毎日一生懸命に取り組んだ成果であると思います。進路で不安を感じているのはあなただけではありません。残り少ない中学校生活ですが、自分を信じて冬休みそして3学期に悔いのない毎日を過ごし希望する進路を実現してください。

1・2年生ですが、各部活動の新人戦で植田東中旋風を巻き起こしたことは素晴らしい偉業であり自信を持って良いと思います。しかし、今後は他校からマークされますので今まで以上にレベルアップを図らなければなりません。学習面でも授業や家庭学習に集中して取り組んだ人が多かったと思います。一人ひとりがより高みを目指して取り組めば更に成長する要素がたくさんあります。3か月後の進級に向けて魅力ある先輩となれるように準備してほしいと思います。

さて、令和2年まであと一週間。元日に新たな抱負を掲げるとありますが、ここで一つクイズ形式で考えてもらいましょう。「元日と元旦、何が違うの?」。周囲の人と確認してみてください。答えは元日は1月1日、元旦は元日の朝という意味です。何事にも「なぜ?」と興味を持って生活すると単調な毎日にも張りが出ます。さて本題に戻りますが、新年の抱負を掲げる上で、これまでの自分の殻を打ち破って挑戦する新たな自分探しの抱負を掲げてください。そして新年の抱負の中に「清らかな心や思いやりの心を持つ」ことも含めてください。

先月、いわき市の弁護士の方をお呼びして「いじめ防止教室」を開き、いじめなど否定的な言葉や行動をする人には絶対になってはいけないことを学んだと思います。

相手より優れていることよりも、思いやりをもって行動できる綺麗な心を持つ人間になることの方がはるかに魅力的で素敵な人になれます。

先ほども校長賞の善行賞部門での表彰を行いました。人のために頑張った自分を嫌いになる人はいません。「情けは人のためならず」ということわざを聞いたことがあると思います。これは、人に対して思いやりをもって接すれば、いつか自分にその恩恵が返ってくるという意味です。簡単にできることではないですが、強い決意があれば、誰にでも必ずできることです。

また、校長先生が機会あるごとに話してきたこと。「失敗から学ぶ」「今を精一杯生きる」「自分で自分を褒められる人に」「普通に暮らせる幸せを決して忘れてはいけない」。これらのこともぜひ忘れずに自分を成長させてください。

最後になりますが、もうすぐ令和元年も終わり、年が改まり令和2年がやってきます。今年を振り返るとともに、大いなる希望をもって新年を迎えてください。そして1月8日の始業式に皆さんが笑顔で登校できることを期待し、式辞とします。